



★ せんだい 仙台スピーカーズビューロー ★

スピーカーズビューローとは…

精神疾患を持つ当事者の方々が自らの体験を語り、誤った情報やイメージから生じる偏見や差別を解消していく事を目的として活動している団体です。

活動内容

① 講演

当事者、ご家族、学生、行政機関、地域住民など様々な方から依頼を受けて講演を行います。

講演内容は疾病体験や家族や医療との関わり、就労についてなどです。講演が不安な方にはメンバーが原稿作成の補助や講演の練習などのサポートをするので安心して講演を行うことができます！また、講演以外にも機関紙で文章による思いの発表の場などがあり、いろいろな形で思いを発信する機会があります。

講演会の様子です♪



② 定例会

毎月第3水曜日（13：30～15：30）に開催し、活動に関する話し合いを行っています。

交流会（芋煮会）の様子です♪



定例会の様子です♪

③ 交流会

クリスマス会やお花見などメンバー自身がやりたいことを提案し、メンバーが主体となって企画・運営をしています！

参加するには…

東北福祉大学メンタルヘルスプロモーションセンター

〒981-8523 仙台市青葉区国見1-19-1（東北福祉大学ステーションキャンパス2階）

☎：022-728-6630（FAX：022-728-6640）

✉：health@tfu-mail.tfu.ac.jp ※開設日：9：00～18：00（土日・祝日はお休み）





だい かい いで お せい お つ じ せ く 第31回 出花生活塾



れい わ ねん がつ にち もく たか さご かい きょうさい いで か せい か つ じ せ く かい さい
令和2年2月20日（木）に高砂ございん会と共催で「出花生活塾」を開催しました！
こん かい きゅうきゅうきゅうめい まな み や ぎ の しょうぼうしよたか さごぶんしよ きゅうきゅうきゅうめいし わたなべよしひろ し こうし
今回は救急救命を学ぶため、宮城野消防署高砂分署より救急救命士の渡辺義大氏を講師
にお招きし、心肺蘇生法や止血法など実技も交えながら教えていただきました！

AEDの操作など慣れない作業が多くありましたが、分かりやすく教えていただき、参加者の皆様もメモを取ったり、写真を撮って記録に残したりと熱心に講習を受けていました。

「救急車を呼ぶ」や「AEDを持つてくる」なども重要な役割になるため、障害などで心肺蘇生ができない場合はそのような行動を率先して行ってほしいとのことでした。

心肺停止状態になってからの対応が早ければ早いほど生存率が上がるので、救命講習を受けて正しい知識を身に付けることで、いざという時に対応できるようにしておくことが大切なのだ学びました！

講師をしていただいた渡辺様
参加していただいた皆様、
ありがとうございました！



れい わ げん ねん ど 令和元年度ピアトークショー

令和2年3月26日に仙精達主催のピアトークショーが開催されました！

ピアスタッフとして活躍されている方やピアサポーター実習生の方々が参加していました。

障害を抱えているからこそその苦悩や福祉サービス・支援者に対する思いや考えなど率直な意見を聞くことができ、とても勉強になりました！

また、後半はセルフヘルプグループの活動報告があり、

(スイッチ・センダイ)「スイッチ OB会プラス」、(シャロームの会)「ひまわりの会」、「IPS振り返り会」の活動報告が行われました。どのグループもメンバーにとって「居場所」や「安心できる場所」となっており、職場や通所先でのことや日常の出来事について気軽に話ができる環境があることが大事なのだと改めて考えることができました。

参加させていただきました
ありがとうございました！



※ピアトークショーの様子です♪

だい かい どう じ し ゃ かつ どう 第2回当事者活動あんなこと・こんなこと くっちゃべろう会

れい わ ねん がつ にち だい かい どう じ し ゃ かつ どう だん たい い げん こん かん かい
令和2年2月29日に第2回当事者活動団体意見交換会を開催しました！劇団ピアそら！、心のネットワークみやぎ、あんの会、仙台スピーカーズビューロー、仙台当事者研究会ぷらっと、高砂ございん会、仙台市障害者支援課及び現在団体の立ち上げを進めている方々に参加していただきました！

各団体の紹介に続いて、フリートークでは「当事者活動団体の情報をまとめた冊子などがあるといい」と提案があり、その具体策として仙台市障害者支援課の協力で「精神保健福祉ハンドブック」の令和3年度版に当事者活動団体のページを設けていただけるとなりました！そのほか、より詳しい情報発信のため、当事者活動団体の詳しい内容などをまとめた冊子やリアルタイムで情報を更新できるインターネット上のツールの作成についても話があり、今後話し合いを行う予定です。みんなで協力して作成することで団体同士の繋がりができ、情報発信ツールを作ることによって会員数の増加や運営上の負担が減り、士気の向上にもつながっていくのではないかと考えています。

参加していただきありがとうございました！